

伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾中央部から湾奥よりに 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

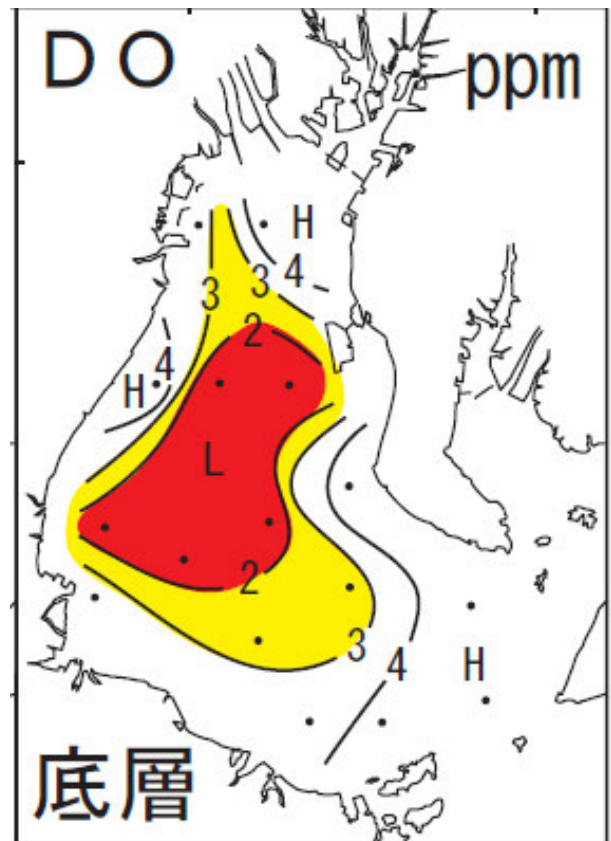
8 月 1 2 日の調査結果

8 月 12 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.9～26.4℃、10m で 22.1～25.2℃、底層で 19.2～24.5℃の範囲にあり、表層は平年より低め、10m と底層ではやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 5.2～6.7ppm、10m で 4.1～6.0ppm、底層で 1.3～5.0ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低めから低め、10m と底層では平年並からやや高めでした。

底層では湾中央部から湾奥よりに 2ppm以下の貧酸素水塊が形成されていますが、先月の観測時より規模が縮小していました。

しかしながら、これは台風 11 号の影響による一時的な縮小と考えられ、再度規模が拡大する可能性があります。



底層貧酸素水塊分布図